

へんなトカゲ

フール

むかしむかしのおおむかし。むしかうまねるむかえ。
ふかいふかいもりのなかにすむトカゲのすのたかのたまご
からへんなトカゲがうまれました。どこのへんなのかって？
だってそのトカゲはネフラのトカゲとくらべると、うでもくひも
からだもほろいし、うでやからたにはへんなフサフサがついてい
たんですもの。

へんなトカゲはいいました。

「オウはいつかすごいことをやってやる」と。

ほかのトカゲは「かれのこしはフサフサをはがかにしました。

「かれは「は」かたひ」といういみで、「フール」とよばれるようになり
ました。





フルはすばやくはしてみました。
しかし、たくましいあしでいばりんぼうのレックスから
いつもにけているトカゲのなかまたちには
かないません。フルのあしはとてもほそく、たくましさ
のかけらもなないので。



ならばフルはつぎにさかなのように
およいでみました。
しかし、うまくおよげません。フルにはさかな
のようになひれはなく、ほそいうでにへんなフサフサ
があるだけです。



それならすあなをほってやるとフルはじめん
をひっかいた。
しかし、これまたうまくいきません。
フルのつめはちいさく、ゆびもほそい。じめん
にあなをほるにはあまりにもたよりない
とフルはおもいました。



「オウはいったい
なにかができる？」
フルはかなしく
なってきました。
するとフルの
うしろから、こえが
かきこえてきました。
「できることはあるぞ。」
フルはおどろいて
ふりかえりました。
するとそこには…

なんていはりんぼうのレックスです。

「オレのべんとうになることかいてるぞ」
いはりんぼうのレックスはフルをたべよう
とおおきなくちをあけてはしってきます。

「ひえ〜!! おたすけ〜!!」

フルはあわててにげたします。

うしろからはおおきなおおきなくち
かさまってきます。

もうダメなとフルがおもったとき、
おもいもよらずにいことがお
こったのです。





なんし、いままでなにかまのトカゲからはかに
されつつけしてきたフサフサが、かせをうけて
ひらき、うつくしくりっはな「フばさ」となったのです。
「これはいったい?! フサフサがフばさに!!」
フルはとこもおびろきましたか、すぐにおちつき
をとりのどし、フばさをうごかしはじめました。

つばさがかぜをうけて、すこしづつうかんでいきます。
そして、ろくかいにははたとついにそらにとび
たちました。

フールはうれしくてうれしくてたまりません。
「よし、つぎはこのままそらのおうさまにでもなつてやる。」
フールはまたおおきなことをいいました。
しかし、もうかれをわらうものはいません。なぜなら、「かれの
しそんはいまではたれもがしる「とり」となつてひろいひろい
そらをじゆうにとんでいるのですから。

